

「やまがた創生総合戦略」の進捗状況 ～地方創生加速化交付金活用事業～

資料3-3

平成28年度地方創生加速化交付金活用事業 9事業 実績額455,562,699円

交付対象事業の名称	事業概要	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値が指標値を下回った理由	事業の有効性等		実績値を踏まえた事業の今後について		「第3次山形県総合発展計画 短期アクションプラン」にて、本事業が該当する箇所
			指標	本事業終了後(H29.3)	最終目標	単位	実績値	事業効果		事業の評価(案)	左記に対する意見等	今後の方針	今後の方針の理由	
1 山形をけん引する「人づくり」「地域づくり」推進事業	青年の地域活動を持続・発展させるため、高校生と青年がともに地域課題について学び、考える取組み等	130,572,766	指標①	土木エンジニアリング科修了生の県内就職率	-	90 (H32.3)	%	調査中	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地域における青年の自主的な活動は地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしており、高校生に対して参画の意欲を醸成することは次の世代の青年グループの育成に有効である。	追加等更に発展させる	青年と高校生が協働して地域活動を企画・運営することで、高校生の地域活動に対する理解が更に深まり、卒業後に地域活動に参画する可能性が高くなることが考えられる。今後は、高校生に対して、地域活動を知るとい段階から一歩踏み込んで企画運営の体験をするという段階に事業を進めていくことが期待される。	テーマ1-施策1 出会い・結婚・出産・子育ての希望の実現
			指標②	農林大学校林業経営学科で行う林業を担う次世代リーダーの育成人数	15	-	人	15						テーマ1-施策2 子どもの多様な力を引き出す教育の推進
			指標③	女性農業士(指導農業士・青年農業士)の数	-	50 (H32.3)	人	43						テーマ1-施策3 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進
			指標④	保育所入所待機児童数	-	0 (H32.3)	人	67						テーマ1-施策4 多種多様な能力発揮の促進
			指標⑤	住民主体による地域づくりに係る活動拠点	-	28 (H32.3)	拠点(累計)	0						テーマ1-施策5 文化・芸術、スポーツの振興
			指標⑥	CCRC事業の実施エリア数	-	4 (H32.3)	箇所	0						テーマ2-施策2 高齢者もその家族も安心して暮らせる社会の実現
			指標⑦	地域活動に取り組む青年グループ数	-	70 (H32.3)	団体	64						テーマ3-施策5 産業人材の確保・育成と働き方改革の推進
			指標⑧	地域の伝統・文化行事に参加している児童生徒の割合	-	小6 90.0 中3 70.0 (H32.3)	%	調査中						テーマ4-施策1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現
2 「ものづくり山形」推進事業	産学官金連携による付加価値の高いものづくりの取組みへの支援等	91,342,294	指標①	有機エレクトロニクス関連の製品化に取り組む企業数	50	75 (H32.3)	社	65	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	製品の試作品が完成するなど、付加価値の高い製品開発に相当程度の効果があったと思われる。	事業の継続	今後も新製品開発を支援し、付加価値の高い製品開発の推進を図る。	テーマ3-施策1 県内企業の技術革新(イノベーション)による新たな価値創出の加速
			指標②	慶應先端研と県内企業等との共同研究等実施数	12	15 (H32.3)	件	23						テーマ3-施策2 中小企業等の稼ぐ力の維持・強化
			指標③	“メイドイン山形”による新製品開発	4	16 (H32.3)	製品	6						
			指標④	ものづくりベンチャー及び新事業の創出	1	3 (H32.3)	社(事業)	1						

交付対象事業の名称	事業概要	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値が指標値を下回った理由	事業の有効性等		実績値を踏まえた事業の今後について		「第3次山形県総合発展計画 短期アクションプラン」にて、本事業が該当する箇所
			指標	本事業終了後(H29.3)	最終目標	単位	実績値	事業効果		事業の評価(案)	左記に対する意見等	今後の方針	今後の方針の理由	
3	【プロ人材】【RESAS活用】地方創生人材確保・支援事業	都市部の人材の県内への還流に向けたマッチングの支援等	37,093,729	指標① 相談件数	200	200 (H32.3)	件/年	201	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	新たな事業や雇用の開拓をリードするプロフェッショナル人材の還流につながっている。	追加等更に発展させる	フラグシップモデルを実施することで、多様な人材開拓ルートの開拓等を行い、本県への更なる還流を目指す。	テーマ3-施策5 産業人材の確保・育成と働き方改革の推進 テーマ7-施策2 新たな社会資本としてのICTの利活用の拡大
指標② 成約件数	15	15 (H32.3)	件/年	17										
指標③ 教育機関・県民等に対するRESAS活用支援件数	5	5 (H32.3)	件/年	調査中										
4	IoT関連産業振興事業	「地方版IoTラボ」を立上げに向け研究会を設置し、IoT関連産業振興施策の展開方向性について検討し、県内企業のIoT等の導入に向けた意識改革を図るセミナーを実施	658,210	指標① 「IoT等関連産業創出研究会」及び「地方版IoT推進ラボ」の設置	設置	-	-	研究会:設置 ラボ:未設置	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	IoTの普及を図る上では、産学官金の連携を図ることが重要であるが、この取組みにより関係者間の連携体制が構築されており、有効な取組みと評価できる。	追加等更に発展させる	IoT、ビッグデータ、AI、ロボットは、新産業構造ビジョン(H29.5)において「Society 5.0」の実現に向けた重要な技術と位置付けられるなど、今後の産業振興に向け必須の取組みであり、強気に推進していく。	テーマ3-施策1 県内企業の技術革新(イノベーション)による新たな価値創出の加速 テーマ3-施策2 中小企業等の稼ぐ力の維持・強化
指標② 県内企業によるIoT関連サービスの創出数	-	5 (H32.3)	件	0件										
指標③ 県内企業によるIoTの導入件数	-	20 (H32.3)	件	0件										
5	産業人材確保対策事業	産学官で連携しながら、山形で働く機運を醸成する県民会議を設置し、多様な働き方を推進	3,385,983	指標① 山形県人材定着回帰推進会議(仮称)開催回数	2	延8 (H32.3)	回	1回	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	目標の指標には届かなかったものの、会議やセミナーの開催を通じた機運醸成等一定の効果が見えてくる。	追加等更に発展させる	【オールやまがた】 県内企業からのニーズが高いため、今後とも継続が必要。 【企業向けセミナー】 企業に対し、働き方の見直しに向けた支援を行なうことにより、ワークライフ・バランスの取組みを推進するとともに、県内への人材定着を図るため。	【オールやまがた】 テーマ1-施策3 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進 【企業向けセミナー】 テーマ3-施策5 産業人材の確保・育成と働き方改革の推進
指標② 企業向けセミナー参加企業数	50	延200 (H32.3)	社	39社										
6	「食産業王国やまがた」実現事業	女性や若者等による地域の農産物等を活用した新たな事業化に向けた取組みに対する支援等	118,983,352	指標① トップランナー育成支援(農業のトップランナーの数)(補助金採択件数)	約15	販売金額1千万円以上の家族経営体数:3,500経営体 販売金額3千万円以上の組織経営体数:500経営体(H32.3)	件	15	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業主体は女性や若者を中心とした団体であり、起業化に対する意欲や意識が高く、助成完了後も事業の継続や拡大が見込まれることから、地域資源を活用した6次産業化の裾野の広がりが期待できる。	事業内容の見直し(改善)	特に農村部における女性や若者の起業化支援は、集落における雇用の場の創出や集落全体の活性化にもつながることから、事業を継続する。	テーマ4-施策1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現 テーマ4-施策4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進
指標② 農業者自ら又は直売所や加工所を核とした地域の6次産業化に向けた取組みに対するオーダーメイド型の支援(補助金採択件数)	約5	各採択事業について、5年後の関連品目算出額が支援前の2倍以上、雇用創出1.5人以上(H34.3)	件	27										
指標③ 県産農産物を使用し県内で製造された土産品の新商品開発件数(H28年度新商品開発件数)	10	15 (H30.3)	件	15										
指標④ 県産農産物の輸出数量	650	800 (H32.3)	トン	843										

交付対象事業の名称	事業概要	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値が指標値を下回った理由	事業の有効性等		実績値を踏まえた事業の今後について		「第3次山形県総合発展計画 短期アクションプラン」にて、本事業が該当する箇所	
			指標	本事業終了後(H29.3)	最終目標	単位	実績値	事業効果		事業の評価(案)	左記に対する意見等	今後の方針	今後の方針の理由		
7	日・伊国交150周年記念山形・酒田の食と文化の発信事業	3,000,000	指標①	県内蔵元54蔵のうち、本年度よりイタリヤ向けの輸出量が増加した蔵元数	5	15 (H31.3)	蔵	20	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	プロモーションを通して日本酒や県産農産物の輸出販路拡大に向けた取組みが促進された。	予定通り事業終了	単年度開催のため、予定通り終了	テーマ4-施策4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進	
8	「観光立県山形」しごと創出事業	44,938,000	指標①	観光消費額	1,964	2,100 (H31.12)	億円	調査中	全国的に宿泊を伴う日本人の国内旅行が減少している。 (全国:H28年対H27年△3.5% (観光庁宿泊旅行統計調査より)) 本県においても、宿泊旅行需要を取り込めなかったことから、目標値を下回った。	総合戦略のKPI達成に有効であった	観光PR及び観光誘客の促進など総合的な事業の展開により、更なる観光誘客が図られている。	事業の継続	本県の観光者数及び宿泊者数の増加に大きく寄与する事業であり、引き続き観光誘客活動を展開していく必要がある。	テーマ5-施策2 観光資源の高付加価値化と戦略的誘客の強化	
			指標②	観光者数	4,258	4,500 (H32.3)	万人	調査中							
			指標③	延べ宿泊者数	571	600 (H31.12)	万人	544							地方創生に非常に効果的であった
			指標④	外国人受入数 延べ外国人宿泊者数	99,877 58,705	150,000 80,000 (H31.12)	人 人	127,891 88,200							
9	再生可能エネルギーを活用した地域活性化事業	25,588,365	指標①	再生可能エネルギーの新たな開発量	45	101.5 (H43.3)	万kW	47.4 (H29.3)	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	民間事業者や市町村への支援により、再生可能エネルギー発電事業の誘導を図り、再生可能エネルギーの導入を推進することができている。	事業の継続	内陸部への風力発電事業の誘導や洋上風力発電の導入可能性研究等、再生可能エネルギー開発促進に向けて継続して取り組んでいく。	テーマ6-施策1 再生可能エネルギーの導入促進と省エネルギーの推進	
			指標②	県内陸部における風況調査の実施(風況データの公表)	-	2 (H30.3)	箇所	2 (H29.3)							
			指標③	民間事業者による一定地域における熱供給事業等「エリア供給システム」構築に向けた事業計画の策定の支援(補助採択数)	3	-	件	3							
			指標④	出資等の形で広く県民が参画する民間事業者による再エネ発電事業の認証(認証件数)	3	-	件	3							

「やまがた創生総合戦略」の進捗状況 ～地方創生推進交付金活用事業～

平成28年度地方創生推進交付金活用事業 6事業 実績額866,360,152円

交付対象事業の名称	事業概要	実績額 【事業費ベース】 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)					事業終了後における実績値		実績値が指標値を下回った理由	事業の有効性等 (外部有識者からの評価案)		実績値を踏まえた事業の今後について		「第3次山形県総合発展計画 短期アクションプラン」にて、本事業が該当する箇所
			指標	平成28年度 (1年目)	事業最終年度		単位	実績値	事業効果		事業の評価(案)	左記に対する意見等	今後の方針	今後の方針の理由	
1 東北の「ものづくり」をけん引する山形・宮城の「産業人材・地域づくり」事業	地域産業振興の中核となる人材の確保・育成や企業へのマッチングを行うと同時に、首都圏等からのプロフェッショナル人材のUIJターンの流れを加速化するため、官民協働により情報発信と受入体制の強化を図り、移住から定着に至るまでの一貫した支援を行う。子育て世代や障がい者等の就業を促進するため、労働意欲の喚起や就業支援を行うほか、雇用側である企業の意識改革を促し、雇用環境の改善を支援する。	162,680,082	指標① 製造品出荷額(ものづくり関連+食料品製造業)	30,246 (+905)	H32年度 (5年目)	33,866 (+4,524)	億円	集計中	地方創生に効果があった	Uターン情報センターの利用者は紹介状の発行を受けずに就職する者がいるため。	総合戦略のKPI達成に有効であった	ものづくり人材の県内定着や育成に加え、企業経営者・後継者等の研修受講生同士のネットワーク形成にもつながっている。	事業の継続	県内企業に優れた人材を確保できるよう、今後も各界の協力を得ながら検討を重ねていく。	テーマ1-施策2 子どもの多様な力を引き出す教育の推進 テーマ1-施策3 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進 テーマ1-施策4 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進 テーマ1-施策5 暮らしの安全・安心の確保 テーマ2-施策3 障がい者がいきいきと暮らせる共生社会の実現 テーマ3-施策5 産業人材の確保・育成と働き方改革の推進 テーマ5-施策2 観光資源の高付加価値化と戦略的誘客の強化
2 岩手・宮城・秋田・山形連携による未来を創るものづくり企業等イノベーション創出促進事業	高付加価値産業への地元中小企業の参入や取引拡大、マーケティング支援、学術機関と連携した技術開発や人材育成等に取り組むことで、企業の「稼ぐ力」を高め、「質の高い雇用」を創出し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ好循環を確立する。	181,504,220	指標① 関係各県のものづくり関連分野の製造品出荷額等(ものづくり関連分野の製造品出荷額)	26,738 (+657)	H30年度 (3年目)	28,052 (+1,971)	億円	集計中	地方創生に相当程度効果があった	移住相談窓口「やまがたハッピーライフ情報センター」(東京都有楽町)において、移住相談と職業紹介を一体的に行うことができる体制の構築等を行ったが、各県ともに移住促進に力を入れていることもあり、目標には届かなかった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	自動車関連技術展示商談会の開催や生産改善の個別指導等により、成長分野での取引拡大が期待できる。	事業の継続	引き続き事業を行い、県内企業の製造品出荷額等の増額を図っていく。	テーマ3-施策1 県内企業の技術革新(イノベーション)による新たな価値創出の加速 テーマ3-施策2 中小企業等の稼ぐ力の維持・強化
3 がんメタボローム研究推進支援事業費	国立がん研究センターの研究連携拠点の設置に伴う共同研究への支援	124,407,434	指標① がんメタボローム研究に有用な検体を選定し行うメタボローム解析数	50 (+50)	H32年度 (5年目)	1,550 (+1,550)	件	50	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	慶應先端研が有するがんメタボローム解析技術を活用し、国立がん研究センターとの共同での研究の拠点となる「がんメタボローム研究室」を設置するとともに、県、鶴岡市、庄内産業振興センターを加えた5者で『がんメタボローム研究連携協議会』を組織し、研究の進捗管理と成果活用マネジメントを行っていく体制を構築しており、着実な事業の進捗がうかがえる。	事業の継続	国立がん研究センター及び慶應先端研が、がんの診断薬や解析技術等の開発に向け、実施する研究活動に対し、支援を行うとともに、研究成果等を活用し、地域の多様な活性化を図っていく。	テーマ3-施策1 県内企業の技術革新(イノベーション)による新たな価値創出の加速

交付対象事業の名称	事業概要	実績額 【事業費ベース】 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				事業終了後における実績値		実績値が指標値を下回った理由	事業の有効性等 (外部有識者からの評価案)		実績値を踏まえた事業の今後について		「第3次山形県総合発展計画 短期アクションプラン」にて、本事業が該当する箇所	
			指標	平成28年度 (1年目)	事業最終年度	単位	実績値	事業効果		事業の評価 (案)	左記に対する意見等	今後の方針	今後の方針の理由		
4 宮城・山形の魅力ある地域資源の輸出拡大による攻めの農林水産業推進事業	両県が誇る多様な農林水産物について、連携して海外への販路拡大を図るとともに、これを契機にインバウンドの拡大につなげ、消費と交流人口の拡大の好循環によるしごとの創出を目指す。	362,519,786	指標①	製造品出荷額(食料品製造業)	3,508 (+248)	4,500 (+1,240)	億円	集計中	テストマーケティングを含み、輸出品目数は増加しているが、定番化までに至った品目数が伸びなかった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	産地間競争が激化する中、認知度向上のための事業は必要であり、有効と認められる。	事業の継続	産地間競争が激化する中、認知度向上のための事業は必要であり、有効と認められる。	テーマ3-施策3 県産品の販路拡大 テーマ3-施策4 本県産品の海外展開力の強化 テーマ4-施策1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現 テーマ4-施策2 水田農業の収益性の向上 テーマ4-施策3 「園芸大国やまがた」の実現 テーマ4-施策4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進 テーマ4-施策5 畜産の競争力強化 テーマ4-施策6 「やまがた森林ノミクス」の推進 テーマ5-施策2 観光資源の高付加価値化と戦略的誘客の強化 テーマ5-施策3 観光産業の競争力強化 テーマ5-施策4 インバウンド推進による交流人口の拡大	
			指標②	農業産出額	2,208 (+93)	H32年度 (5年目) 2,580 (+465)	億円	集計中							地方創生に効果があった
			指標③	海外でテストマーケティングを実施した商品数(農林水産物・加工食品の定番化の品目数)	120 (+27)	150 (+57)	品	99 (+6)							
5 官民協働・地域間連携(中間支援プラットフォーム構築)による住民主体の地域づくり推進事業	中間支援プラットフォーム構築による住民主体の地域づくりの推進	5,248,630	指標①	中間支援プラットフォームによる住民主体の地域活動拠点(地域運営組織)形成	0	90 (+90)	件	0	総合戦略のKPI達成に有効であった	活動拠点の形成に向けた一定の進捗がうかがえる。	事業の継続	地方創生推進交付金を活用して、地域運営組織形成モデル事業や、地域づくり支援プラットフォームの立ち上げにより、地域運営組織の形成を支援していく。	テーマ7-施策3 地域の特性を活かし豊かさを実感できる圏域の形成		
			指標②	任期終了した地域おこし協力隊の本県定住率	41.3 (+1.0)	65.3 (+25.0)	%	63.3 (+23.0)						地方創生に効果があった	
6 地方航空路線を利用した新たな観光ビジネス創出事業	「いせでわ」連携を核とした航空路線利用拡大の一層の推進	30,000,000	指標①	名古屋便搭乗者数	70,000 (+33,691)	80,000 (+43,691)	人/年	68,207 (+31,898)	名古屋便搭乗者数については、利用拡大の取組みにより、夏以降は観光利用、ビジネス利用ともに対前年度を大きく上回る増加となったものの、2便化当初の4月・5月の利用者が伸びなかったこともあり、目標に達しなかった。 プロモーション施策の実施により、山形空港への認知度・注目度が向上し山形空港ホームページのアクセスは順調の伸びだが、積雪期のコンテンツ提供が難しい出羽三山を中心とした「いせでわ」ホームページへの誘導策等が効果的にできなかった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	名古屋便等の利用拡大に向けた取組は、札幌便就航など山形空港全体の利用者数の向上に大きく寄与している。	事業の継続	事業を通じて、連携地域の関係者のネットワークを構築しながら、関係者が密に連携して、効果的なプロモーションや誘客施策の取組を続け、共通テーマ・ストーリーの遠隔地連携の持続的な観光ビジネスを創出していく。	テーマ7-施策1 国内外との交流を拡大する広域交通ネットワークの整備促進	
			指標②	山形空港全体搭乗者数	247,000 (+23,941)	H32年度 (5年目) 259,000 (+35,941)	人/年	257,393 (+34,334)							地方創生に相当程度効果があった
			指標③	「いせでわ」ホームページ、山形空港ホームページを合算したアクセス数:5カ年毎年10%増	645,819 (+58,711)	945,543 (+358,435)	件	632,282 (+45,174)							